



株式会社エイチーム

**決算説明資料 2017年7月期 通期**

2017年9月8日 **(一部訂正)**

※ 2017年9月8日発表の『決算説明資料 2017年7月期 通期』16ページの「リリース年度別通期売上推移」グラフに間違いがございましたので、訂正いたします

# Index

1. FY2017 連結決算概要
  2. FY2017 Q4 セグメント別事業詳説
  3. FY2018 Q1 進捗
  4. FY2018 業績・配当予想
  5. 中長期的な展望
- 
- APPENDIX A : 会社概要
  - APPENDIX B : 主な経営指標

# 1. FY2017 通期連結決算概要

2. FY2017 Q4 セグメント別事業詳説
3. FY2018 Q1 進捗
4. FY2018 業績・配当予想
5. 中長期的な展望

# FY2017 通期決算サマリー (2016.08-2017.07)

## 全社

前期比で大幅に増収増益、過去最高の売上・利益を達成

- 売上高 : 34,603百万円 ( Y/Y 150.7% )
- 営業利益 : 4,077百万円 ( Y/Y 184.3% )
- 当期純利益 : 2,579百万円 ( Y/Y 199.6% )

※親会社株主に帰属する当期純利益 (本頁以降同様)

## エンター テイン メント

前期比で大幅に増収増益、過去最高の売上・利益を達成

- セグメント売上 : 19,259百万円 ( Y/Y 153.3% )
- セグメント利益 : 3,820百万円 ( Y/Y 166.3% )

既存タイトルの効率運用に加え、ヴァルコネ及びユニゾンの国内外の寄与がけん引

売上高構成比

**55.7%**

## ライフ スタイル サポート

前期比で増収増益、過去最高の売上・利益を達成

- セグメント売上 : 13,342百万円 ( Y/Y 145.1% )
- セグメント利益 : 1,929百万円 ( Y/Y 117.8% )

金融メディアと引越し関連がトップラインをけん引、ブライダル関連及び自動車関連も好調

売上高構成比

**38.6%**

## EC

前期比で大幅増収、過去最高の売上を達成

- セグメント売上 : 2,001百万円 ( Y/Y 164.7% )
- セグメント利益 : -178百万円 ( Y/Y - )

キャパシティを拡張し、繁忙期需要に着実に対応。事業として軌道に乗り、大幅に成長

売上高構成比

**5.8%**

# FY2017 Q4 会計期間決算サマリー (2017.05-2017.07)

## 全社

Y/Y大幅増収増益、Q/Qでは季節要因により減収減益

- 売上高 : 9,412百万円 ( Y/Y 139.3%、Q/Q 95.0%)
- 営業利益 : 1,306百万円 ( Y/Y 174.6%、Q/Q 74.7%)
- 当期純利益 : 741百万円 ( Y/Y 147.0%、Q/Q 63.8%)

※親会社株主に帰属する当期純利益 (本頁以降同様)

## エンターテインメント

Y/Y増収増益、Q/Q減収減益

- セグメント売上 : 5,082百万円 ( Y/Y 131.7%、Q/Q 97.7%)
- セグメント利益 : 1,270百万円 ( Y/Y 179.9%、Q/Q 88.2%)

ヴァルコネ、ダビパクが好調、ユニゾンがQ/Qで減少。プロモーション強化によりQ/Qで減益

売上高構成比

**54.0%**

## ライフスタイルサポート

Y/Y増収増益、Q/Q減収減益

- セグメント売上 : 3,746百万円 ( Y/Y 149.1%、Q/Q 93.9%)
- セグメント利益 : 516百万円 ( Y/Y 121.3%、Q/Q 72.1%)

総じてY/Yでは着実に成長。季節要因 (繁忙期需要からの反動減) により、Q/Qで減収

売上高構成比

**39.8%**

## EC

Y/Y増収、Q/Q減収

- セグメント売上 : 584百万円 ( Y/Y 151.3%、Q/Q 81.7%)
- セグメント利益 : -32百万円 ( Y/Y -、Q/Q -)

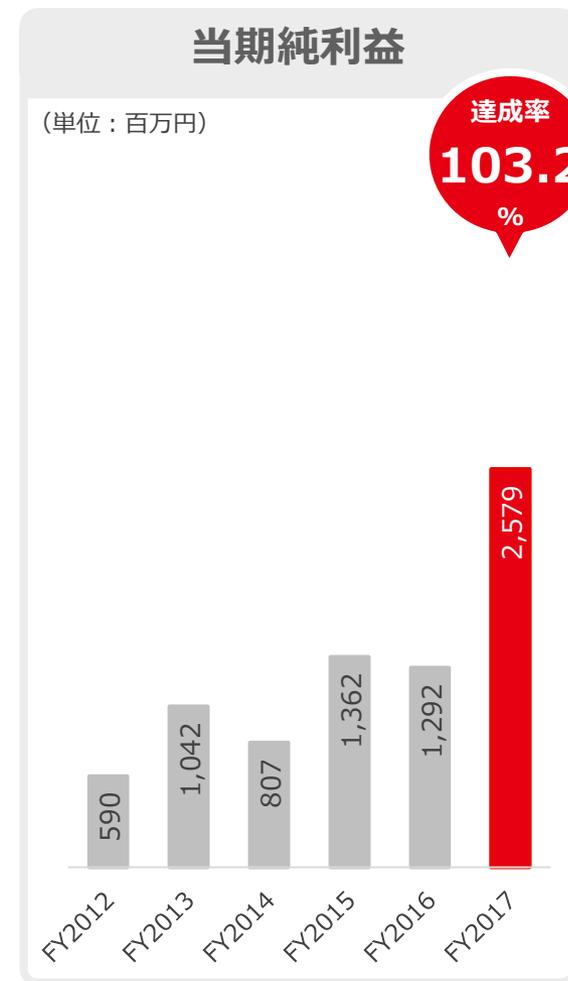
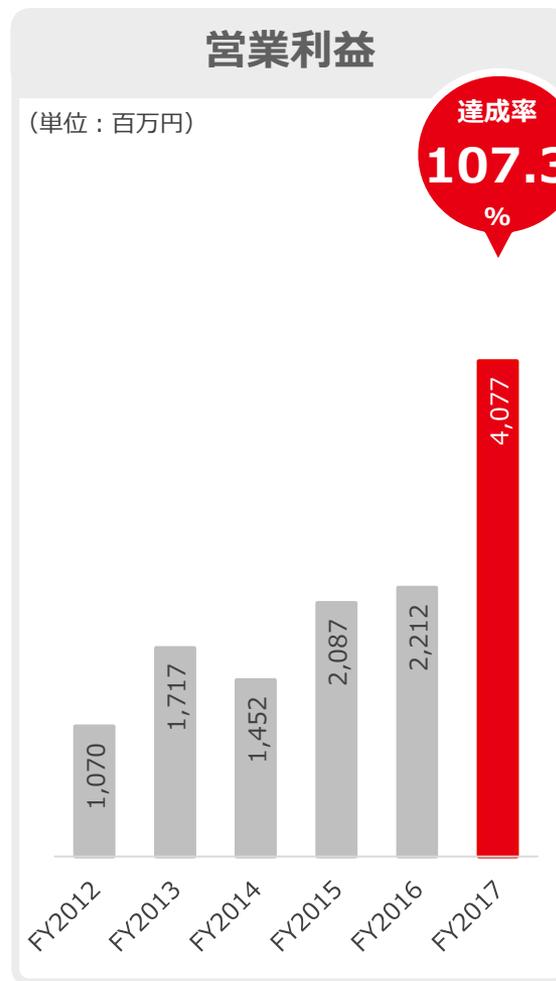
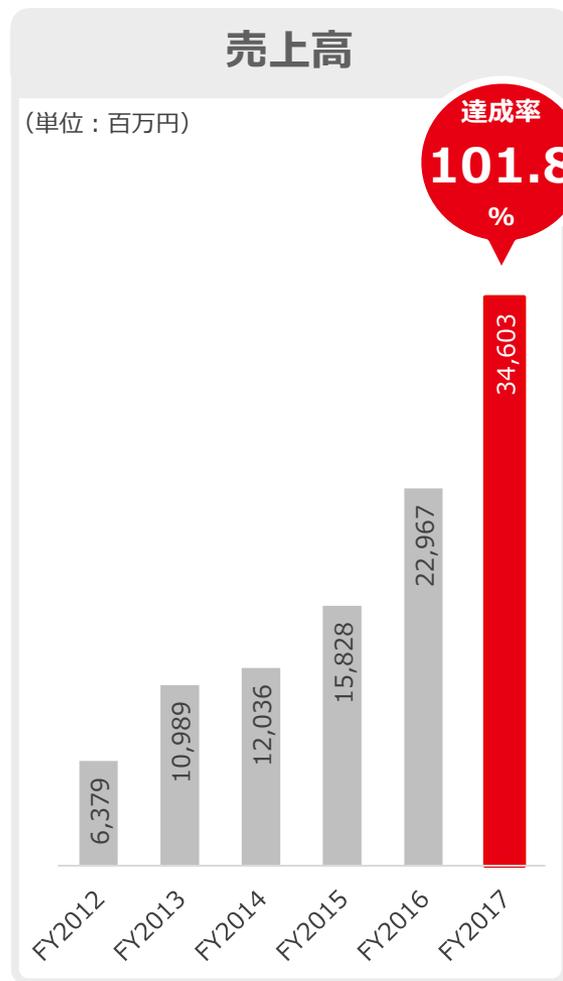
季節要因 (繁忙期需要からの反動減) により、Q/Qで減収

売上高構成比

**6.2%**

# 連結売上高・利益の推移及びFY2017業績予想に対する進捗率

(参考) 通期予想：売上高 340億円、営業利益 38億円、当期純利益 25億円



# FY2017 セグメント別通期連結業績概要 (2016.08-2017.07)

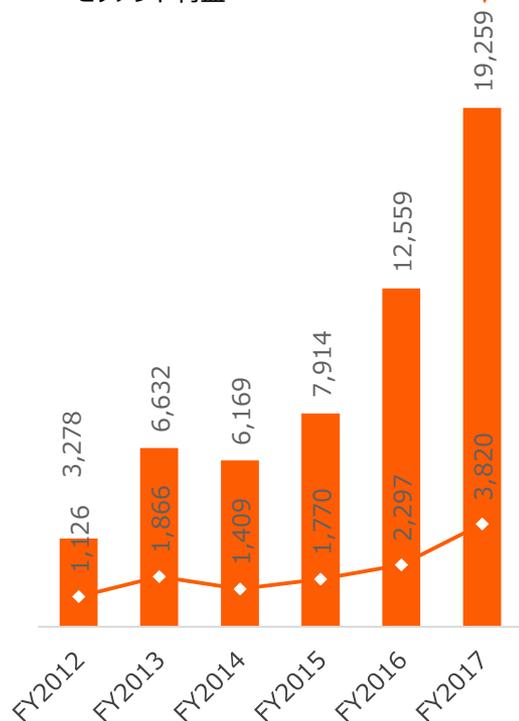
各セグメントそれぞれ過去最高の売上を達成

## エンターテインメント

(単位：百万円)

■ セグメント売上  
◇ セグメント利益

Y/Y  
**+53.3**  
%

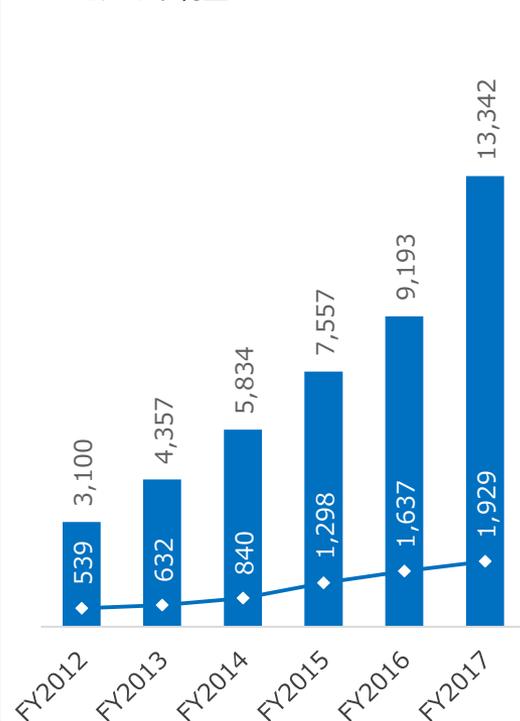


## ライフスタイルサポート

(単位：百万円)

■ セグメント売上  
◇ セグメント利益

Y/Y  
**+45.1**  
%

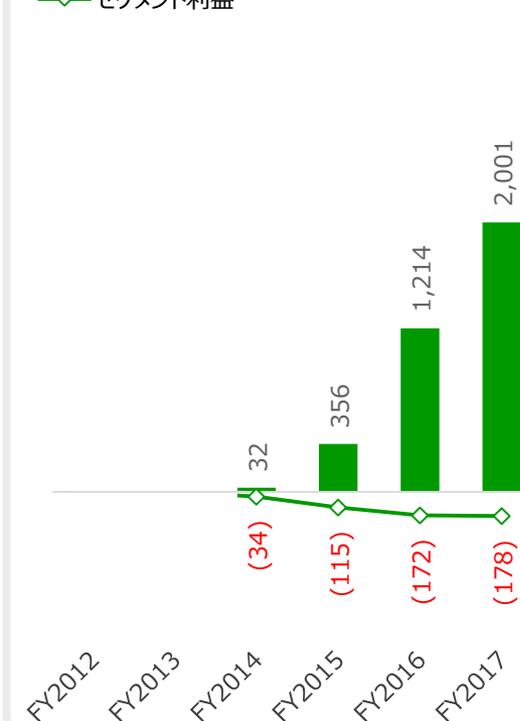


## EC

(単位：百万円)

■ セグメント売上  
◇ セグメント利益

Y/Y  
**+64.7**  
%



# FY2017 通期及びQ4会計期間業績概要

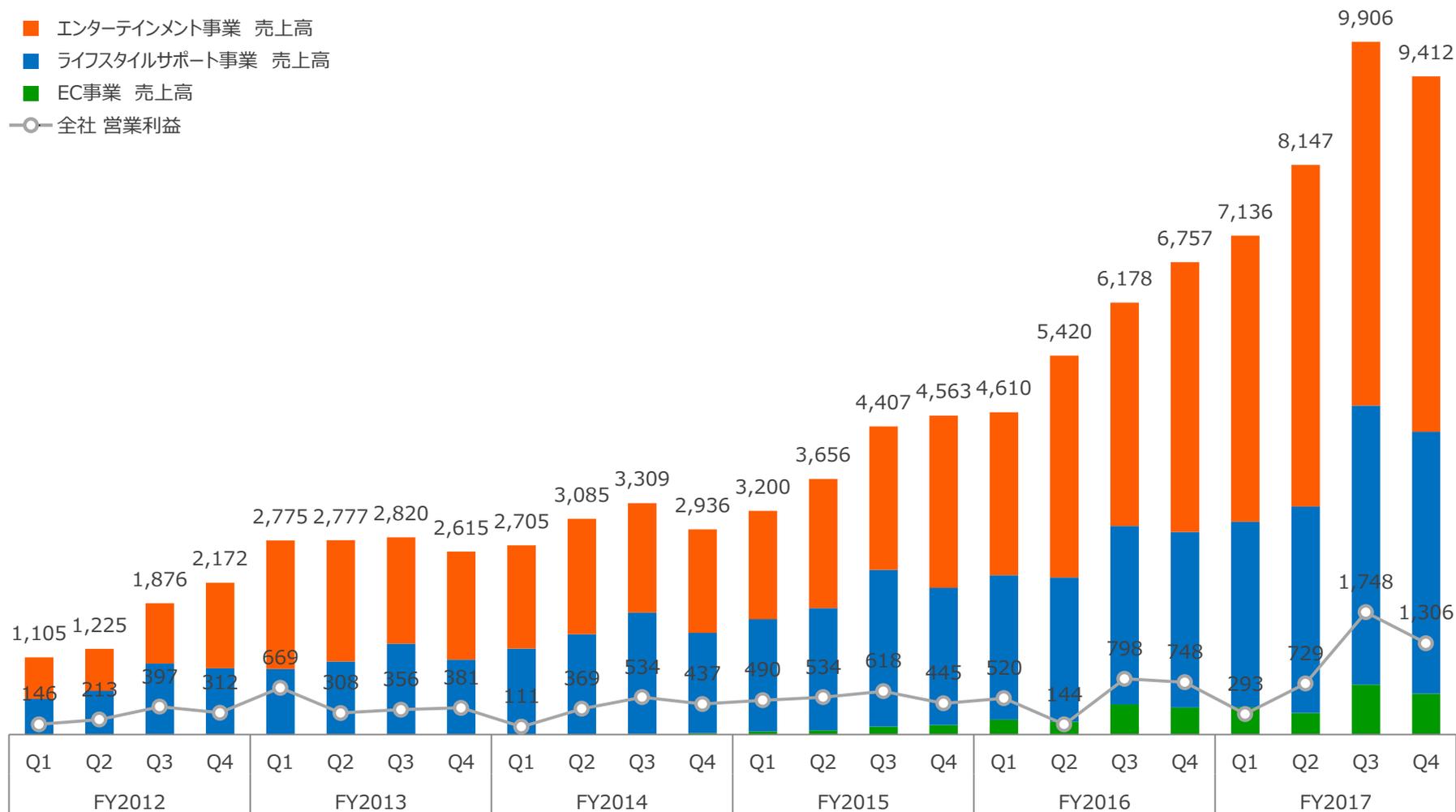
(単位：百万円)

FY2017 通期 (2016.08 – 2017.07)					FY2017 Q4 会計期間 (3ヵ月) (2017.05 – 2017.07)					
	FY2017		FY2016	Y/Y	FY2017		FY2016	Y/Y	FY2017	Q/Q
	通期	%	通期		Q4	%	Q4		Q3	
売上高	<b>34,603</b>	100.0%	22,967	<b>150.7%</b>	<b>9,412</b>	100.0%	6,757	<b>139.3%</b>	9,906	<b>95.0%</b>
営業利益	<b>4,077</b>	11.8%	2,212	<b>184.3%</b>	<b>1,306</b>	13.9%	748	<b>174.6%</b>	1,748	<b>74.7%</b>
経常利益	<b>4,118</b>	11.9%	2,094	<b>196.6%</b>	<b>1,308</b>	13.9%	736	<b>177.7%</b>	1,738	<b>75.3%</b>
当期 純利益	<b>2,579</b>	7.5%	1,292	<b>199.6%</b>	<b>741</b>	7.9%	504	<b>147.0%</b>	1,162	<b>63.8%</b>

# 連結四半期売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)

- エンターテインメント事業 売上高
- ライフスタイルサポート事業 売上高
- EC事業 売上高
- 全社 営業利益



※ ライフスタイルサポート事業の季節要因（引越し、自転車EC事業の繁忙期2-4月、自動車関連事業の繁忙期12-翌2月）により、例年Q3（2-4月）がピーク

# 主な経営指標の四半期推移

(単位：百万円)

	FY14	FY2015				FY2016				FY2017			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	2,936	3,200	3,656	4,407	4,563	4,610	5,420	6,178	6,757	7,136	8,147	9,906	<b>9,412</b>
営業利益	437	490	534	618	445	520	144	798	748	293	729	1,748	<b>1,306</b>
広告宣伝費	912	1,132	1,439	1,903	1,955	1,817	2,326	2,433	2,758	3,432	3,551	3,623	<b>3,410</b>
人件費 採用費	691	684	682	695	736	745	805	814	884	872	935	931	<b>1,066</b>
キャリア手数料 支払手数料	484	484	559	671	869	841	1,171	1,177	1,401	1,468	1,779	2,051	<b>2,108</b>
外注費 サーバー費	159	162	190	197	235	257	267	275	235	254	297	315	<b>331</b>
オフィス賃料	100	110	105	105	111	138	235	177	177	178	218	238	<b>243</b>
期末人員数 (人)	541	531	533	533	530	548	559	574	583	605	627	710	<b>718</b>

※ 四半期末人員数には本体及び国内外グループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員、派遣社員及びアルバイトを含む

※ アルバイト・派遣の人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

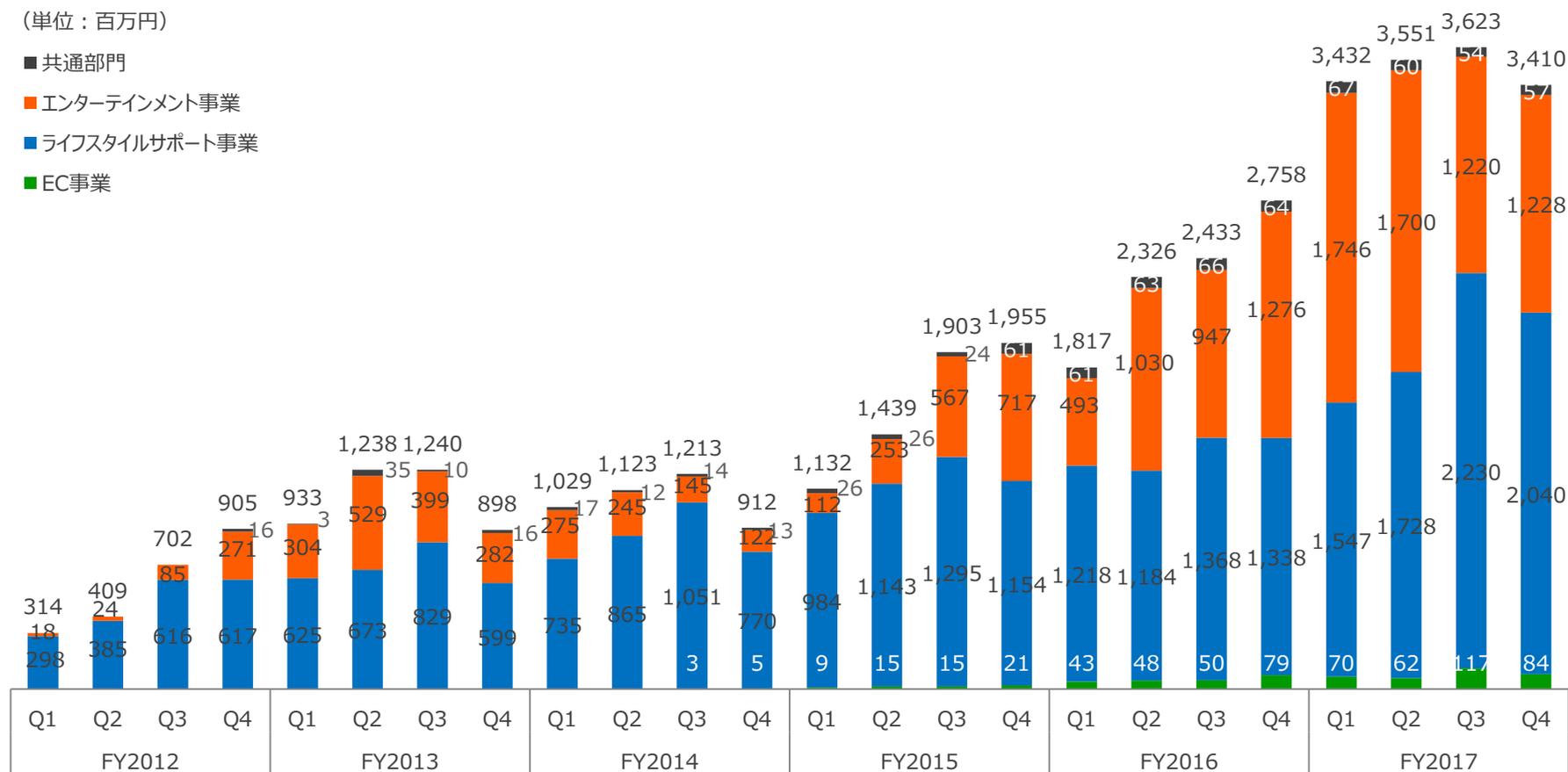
# セグメント別広告宣伝費の四半期推移

エンタメ：ヴァルコネの海外でのプロモーション強化により、微増

ライフ&EC：季節要因（繁忙期需要からの反動減）により、減少

(単位：百万円)

- 共通部門
- エンターテインメント事業
- ライフスタイルサポート事業
- EC事業

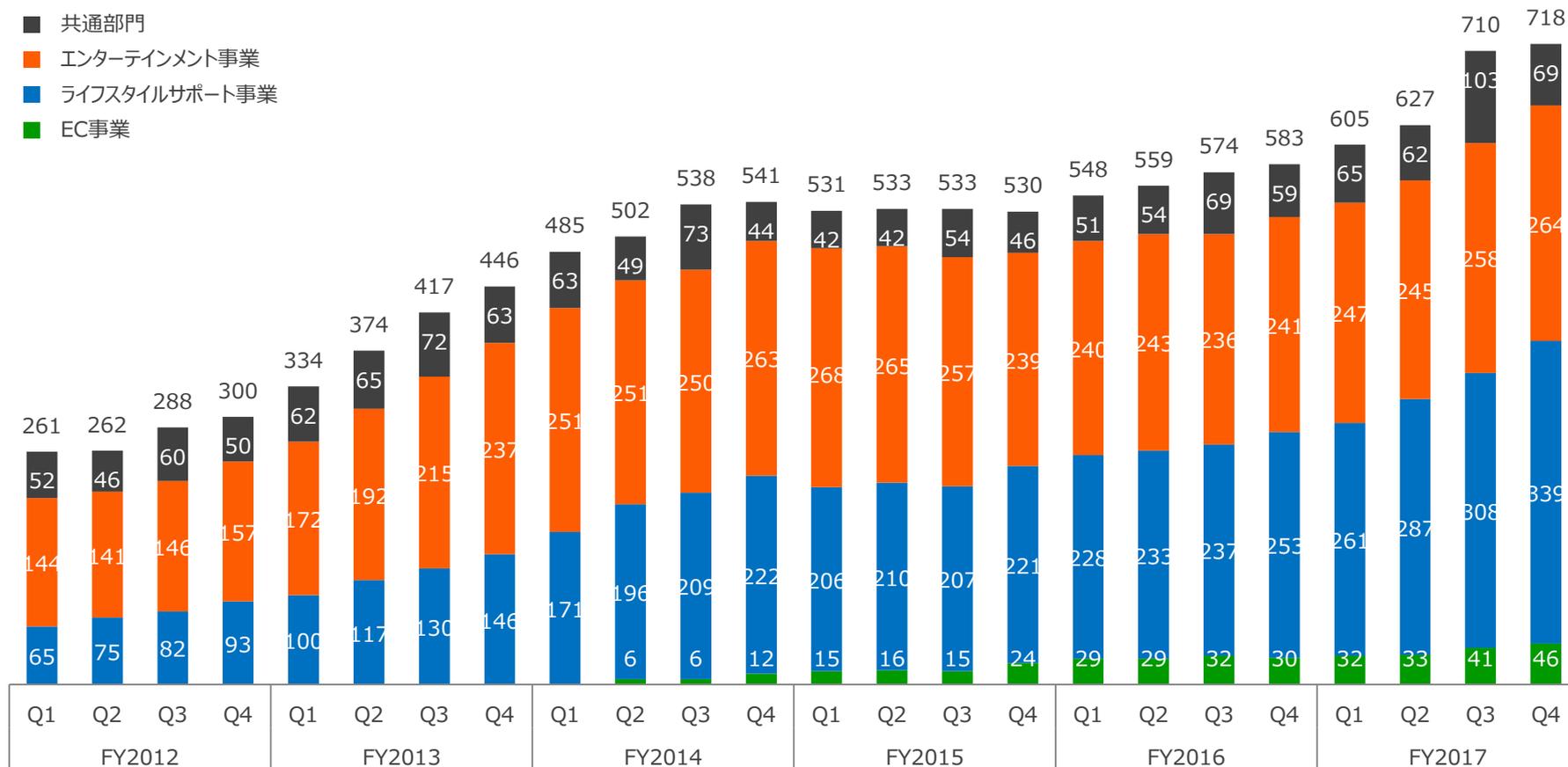


# セグメント別人員数の四半期推移

共通部門に計上していた4月入社の新卒35名が6月より各事業へ配属

(単位：人)

- 共通部門
- エンターテインメント事業
- ライフスタイルサポート事業
- EC事業



※ 四半期末人員数には本体及び国内外グループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員、派遣社員及びアルバイトを含む  
 ※ アルバイト・派遣の人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

## 貸借対照表

■ 本社オフィス及び大阪オフィス増床により、有形固定資産が増加

■ ソフトウェア資産の特別損失（減損損失）の計上により、無形固定資産が減少

(単位：百万円)

	FY2017 Q4	FY2017 Q3		FY2017 Q4	FY2017 Q3
流動資産	<b>9,809</b>	9,333	流動負債	<b>5,202</b>	5,030
現預金	<b>5,004</b>	4,415	固定負債	<b>481</b>	389
売掛金	<b>3,774</b>	3,897	負債合計	<b>5,683</b>	5,420
固定資産	<b>3,331</b>	2,806	有利子負債	<b>632</b>	828
有形固定資産	<b>1,666</b>	1,203	株主資本	<b>7,361</b>	6,619
無形固定資産 (ソフトウェア)	<b>507</b>	793	純資産合計	<b>7,456</b>	6,718
資産合計	<b>13,140</b>	12,139	負債純資産合計	<b>13,140</b>	12,139

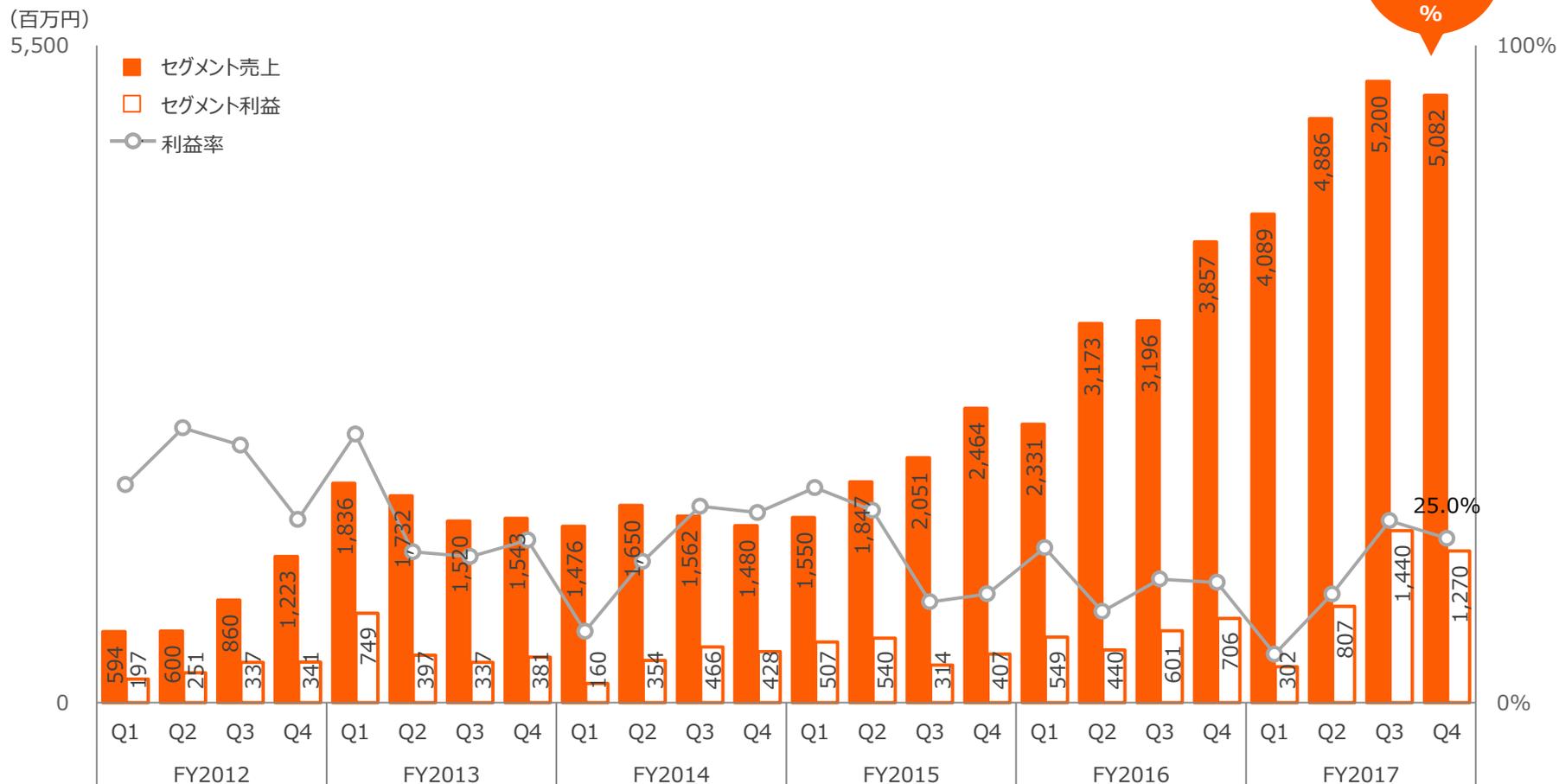
## 2. FY2017 Q4 セグメント別事業詳説

- 3. FY2018 Q1 進捗
- 4. FY2018 業績・配当予想
- 5. 中長期的な展望

# エンターテインメント事業 四半期売上高・営業利益の推移

ヴァルコネ、ダビパクが好調。ユニゾンがQ3に実施したIPコラボイベントからの反動減により減少。その他既存タイトルの減少により、全体ではQ/Qで微減

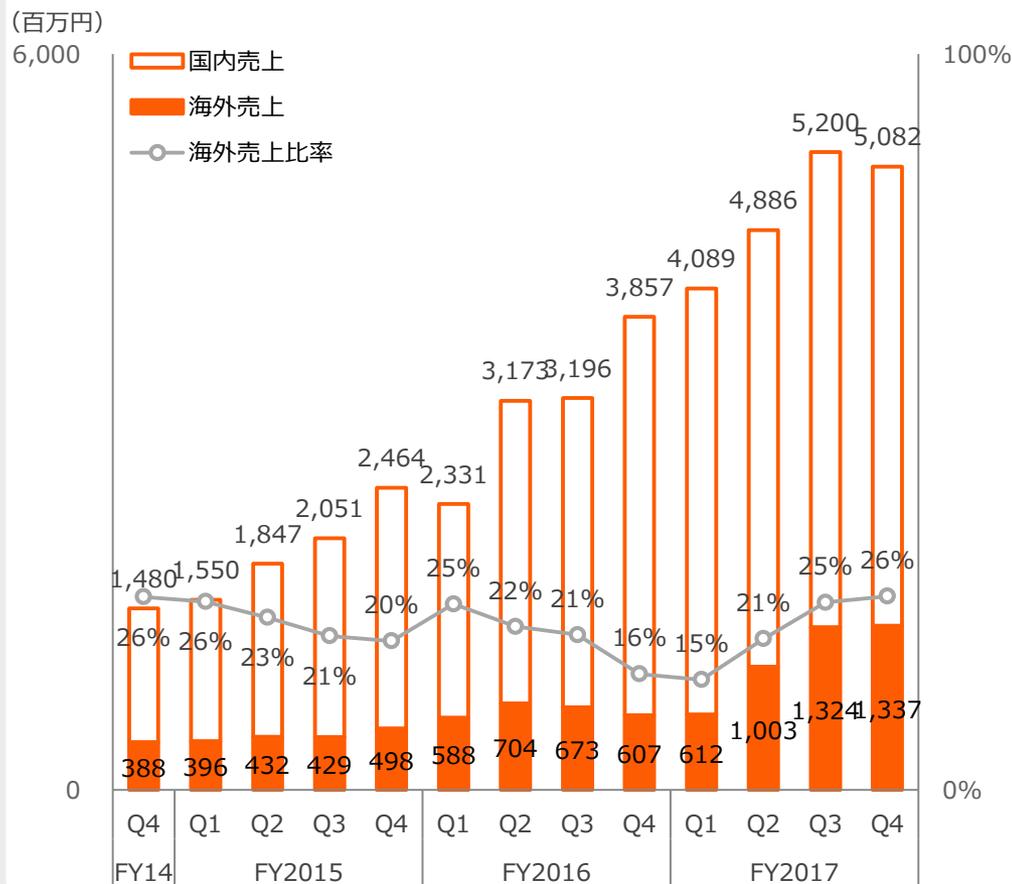
ヴァルコネのプロモーション強化により、セグメント利益がQ/Qで減少



# エンターテインメント事業 海外売上比率の四半期推移

## 海外売上の推移

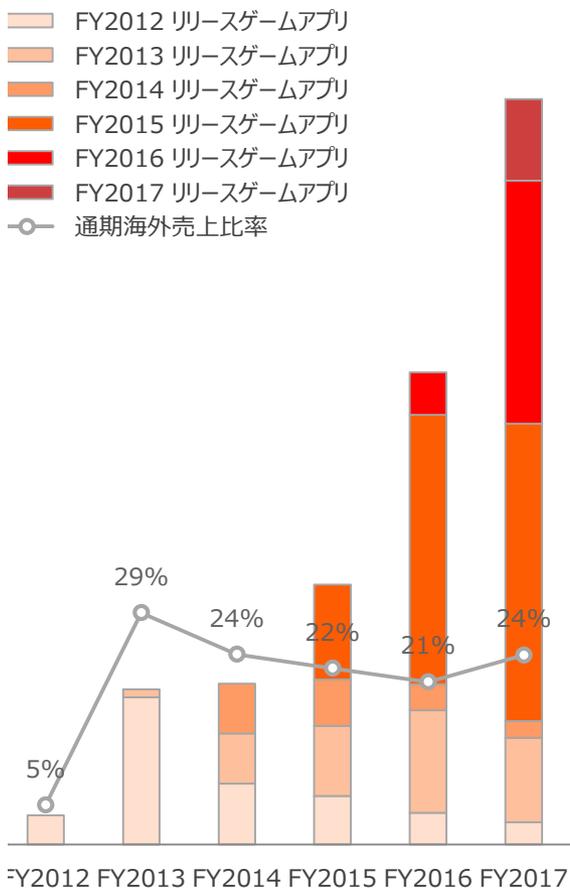
### 海外売上が過去最高



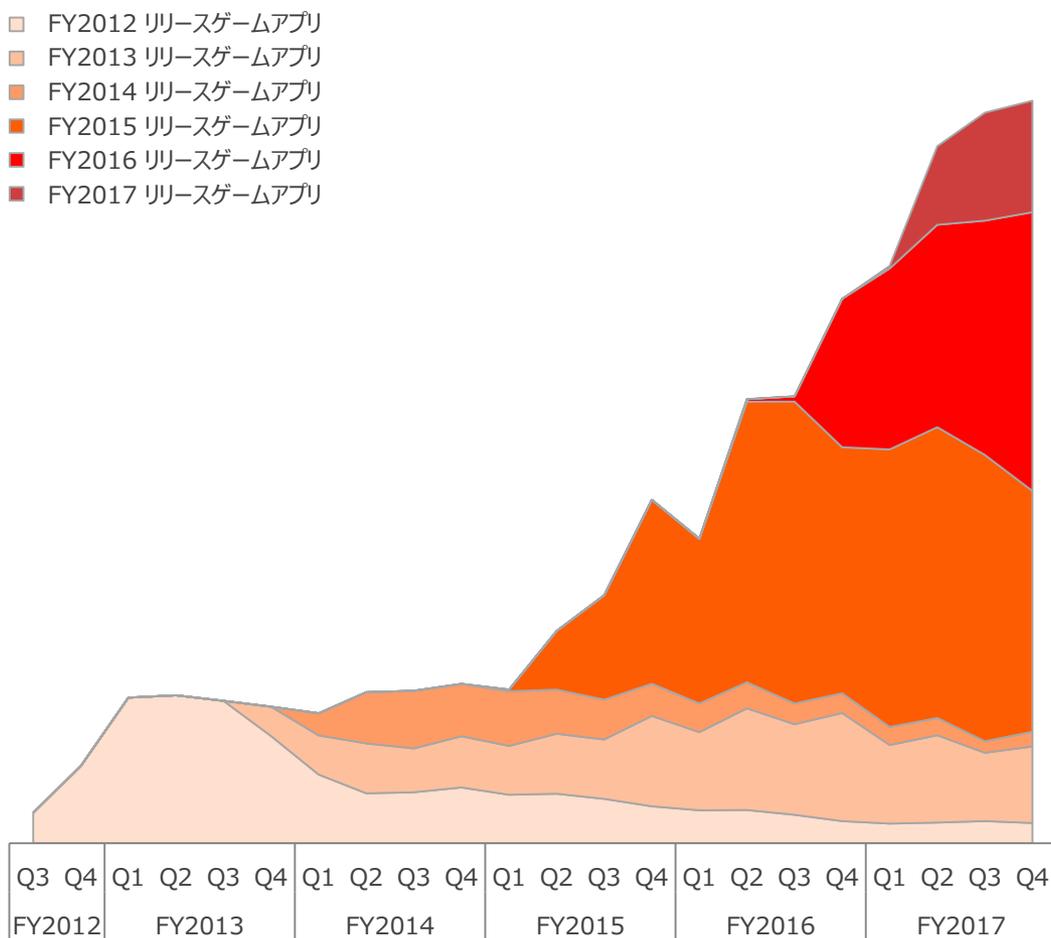
配信国・地域	日本	北米	ヨーロッパ圏	台湾/香港等	韓国	東南アジア圏
ガルトラ	●					
ヴァルコネ	●	●	●	●	●	●
ユニゾン	●	●	●	●	●	●
ダビパク	●			●		●
さんすま	●			●		
レギオン	●	英語版				
サマナー	●	英語版				

# リリース年度別自社ネイティブゲームの売上高の推移

## リリース年度別の通期売上推移



## リリース年度別の四半期売上推移



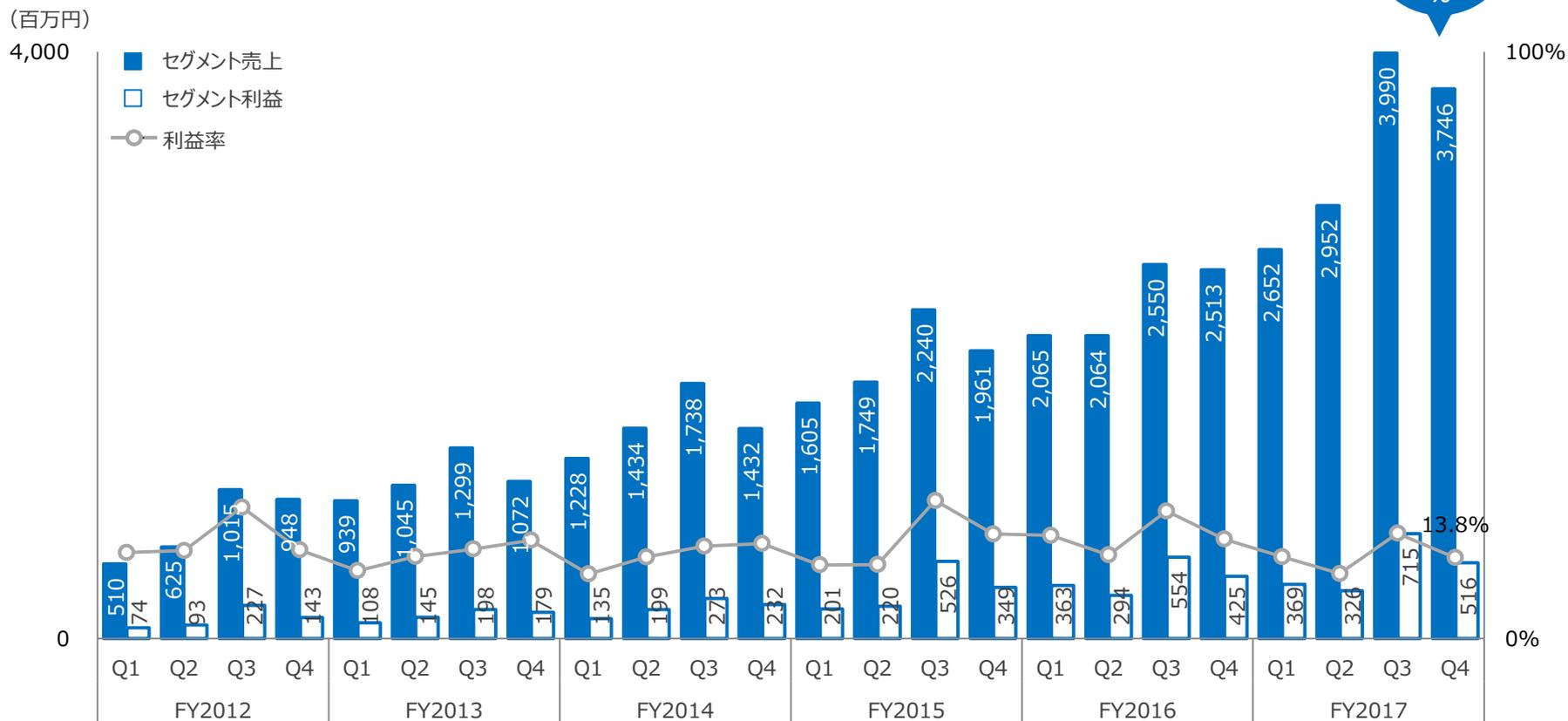
※ 海外版アプリは、実際にリリースされた年度に区分されておりますので、日本語版とはリリース時期が異なるケースがあります（例：ヴァルコネJP：FY2016、ヴァルコネ海外：FY2017）

# ライフスタイルサポート事業 四半期売上高・営業利益の推移

主に引越し、自動車の季節要因（繁忙期からの反動減）により減少

売上の減少に伴い、セグメント利益が減少

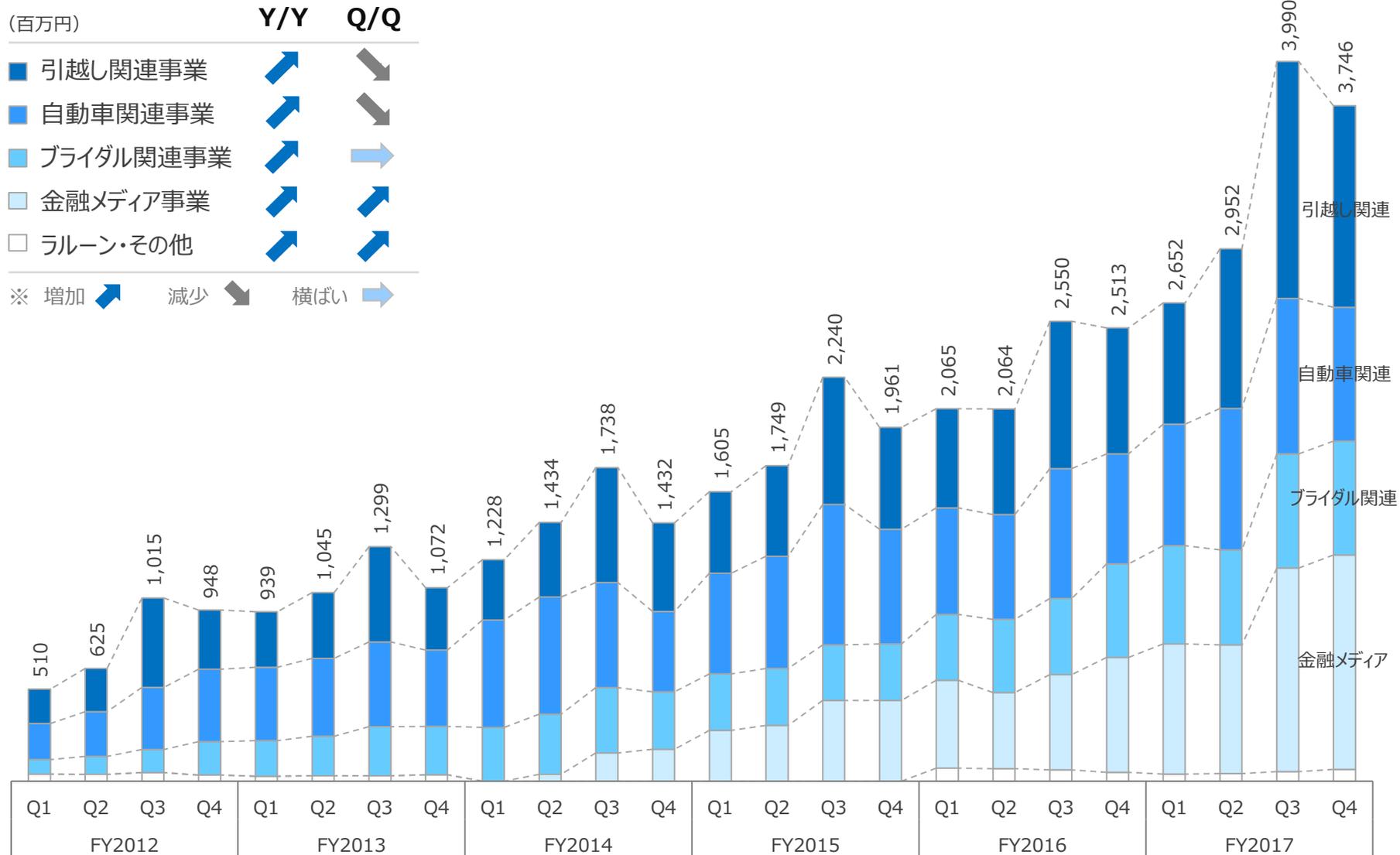
Y/Y  
**+49.1**  
%



※ FY2017（2016年8月1日）より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ 本チャートでは、新セグメント区分に基づき、従来の「ライフスタイルサポート事業」から同資料17頁のEC事業の売上・利益を除いた数値を記載しています

# ライフスタイルサポート事業 サブセグメント別四半期詳説

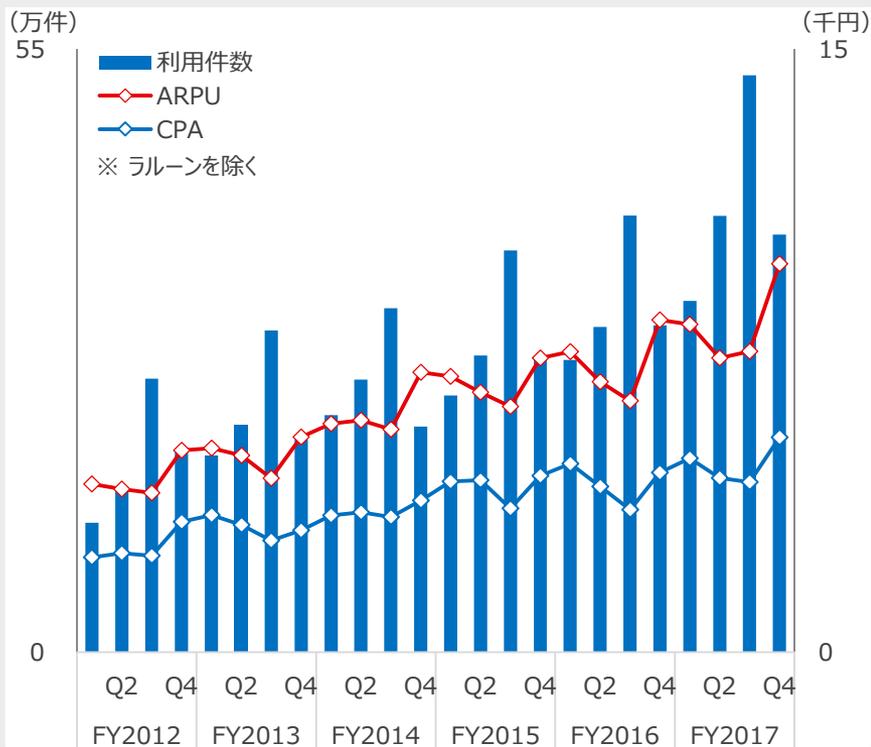


# ライフスタイルサポート事業 主なKPIの四半期推移

## 利用件数・ARPU・CPA

利用件数がY/Yで増加

ARPU、CPAは概ね例年と同様なトレンドで推移



## 粗利額・粗利率

粗利額がY/Yで大幅に増加

粗利率は30強～40%弱の水準で安定推移



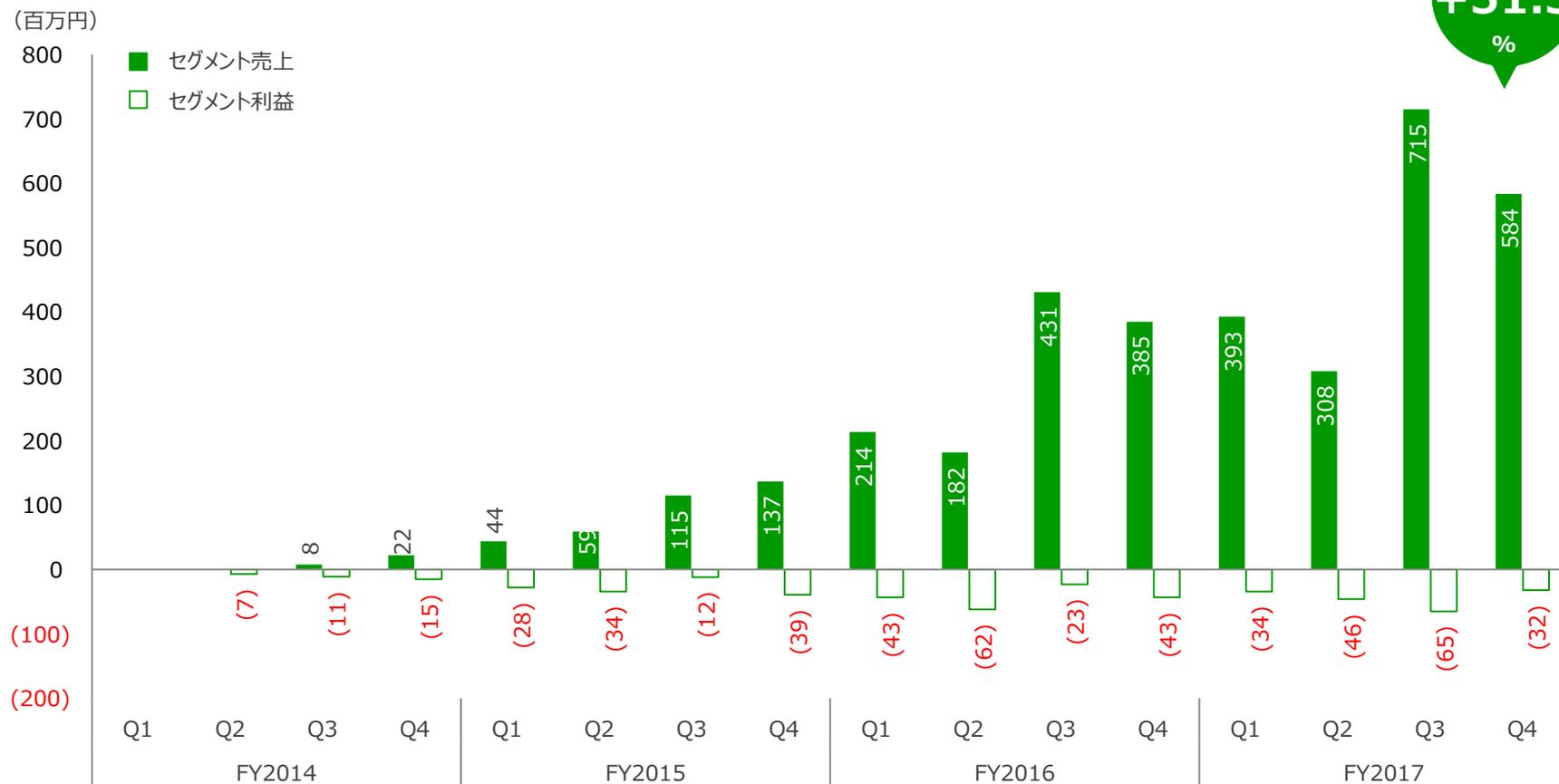
- 【①利用件数】= 主要4事業の利用件数 (各サービスの利用件数のうち、売上が発生した件数) の合計 (※同一利用者が複数サービスを利用した場合、獲得コスト発生ベース)
- 【②ARPU: 利用者1人/組あたりの売上高】= セグメント売上 ÷ 【①利用件数】
- 【③CPA: 顧客獲得1人あたりの広告単価】= 広告宣伝費 ÷ 【①利用件数】

- 【④粗利額】= セグメント売上 - (広告宣伝費 + 仕入原価)
- 【⑤粗利率】= 【④粗利額】 ÷ セグメント売上
- ※ 仕入原価等はGross計上分 (エアコン仕入原価、エアコン工事委託費、ハナユメ定額ウェディング原価、マシリング仕入原価、ハナユメフォト仕入原価) が対象

# EC事業 四半期売上高・営業利益の推移

季節要因（繁忙期からの反動減）によりQ/Qでは減少

事業が軌道に乗り、Y/Yでは引き続き大幅増収



※ FY2017（2016年8月1日）より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ EC事業の自転車通販サイト「cyma -サイマ-」は2013年12月よりサービスを開始しております。繁忙期：3-4月（Q3）

# 3. FY2018 Q1 進捗

- 4. FY2018 業績・配当予想
- 5. 中長期的な展望

# セグメント別トピックス

## 全社

- | オープンイノベーションプログラム『TOYOTA NEXT』において、サービス共同開発協業企業に選定
- | 福岡オフィス（10月中旬～下旬）の開設を決定
- | 8/8にエクイティファイナンス（第三者割当新株予約権の発行）の実施を決定



## エンター テイン メント

- | **ヴァルキリーコネクト** ▶ 8/10に全世界累計1,000万DLを突破  
8/10及び8/24に1,000万DL突破記念キャンペーンを開催
- | **ユニゾンリーグ** ▶ 8/23に「マジカルミライ2017初音ミク」が登場するコラボイベントを開催  
▶ 8/17より、Perfect World社のパブリッシングにより、中国本土のApp Storeに向けて配信開始



## ライフ スタイル サポート

- | **引越し関連事業** ▶ 8/15に「引越し侍」Twitterで話題の新ラジオCM、「旅」篇シリーズ第11弾を放送開始
- | **ブライダル関連事業** ▶ 8/3に **Hanayume** ウエディングアドバイザー No.1を決める「キャリアアップ審査会」を開催



## 4. FY2018 業績・配当予想

5. 中長期的な展望

# FY2018 連結業績予想数値

(単位：百万円)

	FY2017 実績		FY2018 (2017.08-2018.07) 予想			
	中間実績	通期実績	中間予想	通期予想	通期構成比	通期Y/Y
売上高	15,283	34,603	<b>18,500</b>	<b>40,000</b>	100.0%	<b>115.6%</b>
エンターテインメント事業	8,976	19,259	<b>9,500</b>	<b>19,500</b>	48.8%	<b>101.3%</b>
ライフスタイルサポート事業	5,605	13,342	<b>8,000</b>	<b>18,000</b>	45.0%	<b>134.9%</b>
EC事業	702	2,001	<b>1,000</b>	<b>2,500</b>	6.3%	<b>124.9%</b>
営業利益	1,022	4,077	<b>1,350</b>	<b>4,700</b>	11.8%	<b>115.3%</b>
経常利益	1,071	4,118	<b>1,350</b>	<b>4,700</b>	11.8%	<b>114.1%</b>
当期純利益	676	2,579	<b>900</b>	<b>3,100</b>	7.8%	<b>120.2%</b>

※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」三つになりました。

## FY2018の取り組み及び業績予想の考え方

### 全社

中長期的な成長に向け、引き続き人材の獲得・育成及び環境の整備・組織体制の構築に注力予定

- 10月の福岡オフィス開設と同時に、採用強化を実施予定

### エンターテインメント

既存はY/Yで横ばい予想；新規は費用を十分織り込み、収益貢献は保守的に予想

- ヴァルキリーコネクト、ユニゾンリーグ等、既存の効率的な運用と成長余地のある海外での売上拡大に注力予定
- その他既存ゲームアプリは経過年数や足元のKPI推移を勘案しつつ、ゆるやかな減少を前提に、全体では横ばい
- リリース予定の新規（1～2本）は、リリース時のプロモーション費用を十分に織り込み、収益貢献は保守的に予想

### ライフスタイルサポート

各サービスの収益力、KPIを踏まえ、季節要因等想定可能な影響要因を加味して予想

- サブセグメント事業それぞれにおいて、利用者数の増加、利用者1人当たり売上高の向上ならびに利益率の向上を図りながら、サービス間の相互送客・継続顧客の獲得に注力予定
- 各サブセグメントの周辺サービスや新たな産業領域におけるサービスについては、現時点で想定可能な範囲内で企画・開発に必要な費用を織り込んで業績を予想

### EC

足元のKPIを踏まえ、季節要因等を加味しながら想定可能な範囲内で合理的に予想

- 引き続き組織基盤・体制を整えるための継続投資費用を十分に織り込む
- 収益貢献は足元のKPIを踏まえつつ、神戸物流拠点を軌道に乗せ、キャパシティ増大による売上拡大を見込み、季節要因等を加味しながら想定可能な範囲内で合理的に予想

# FY2018 配当予想

今後も業績を勘案しつつ、通期配当性向20%前後の株主還元を継続予定

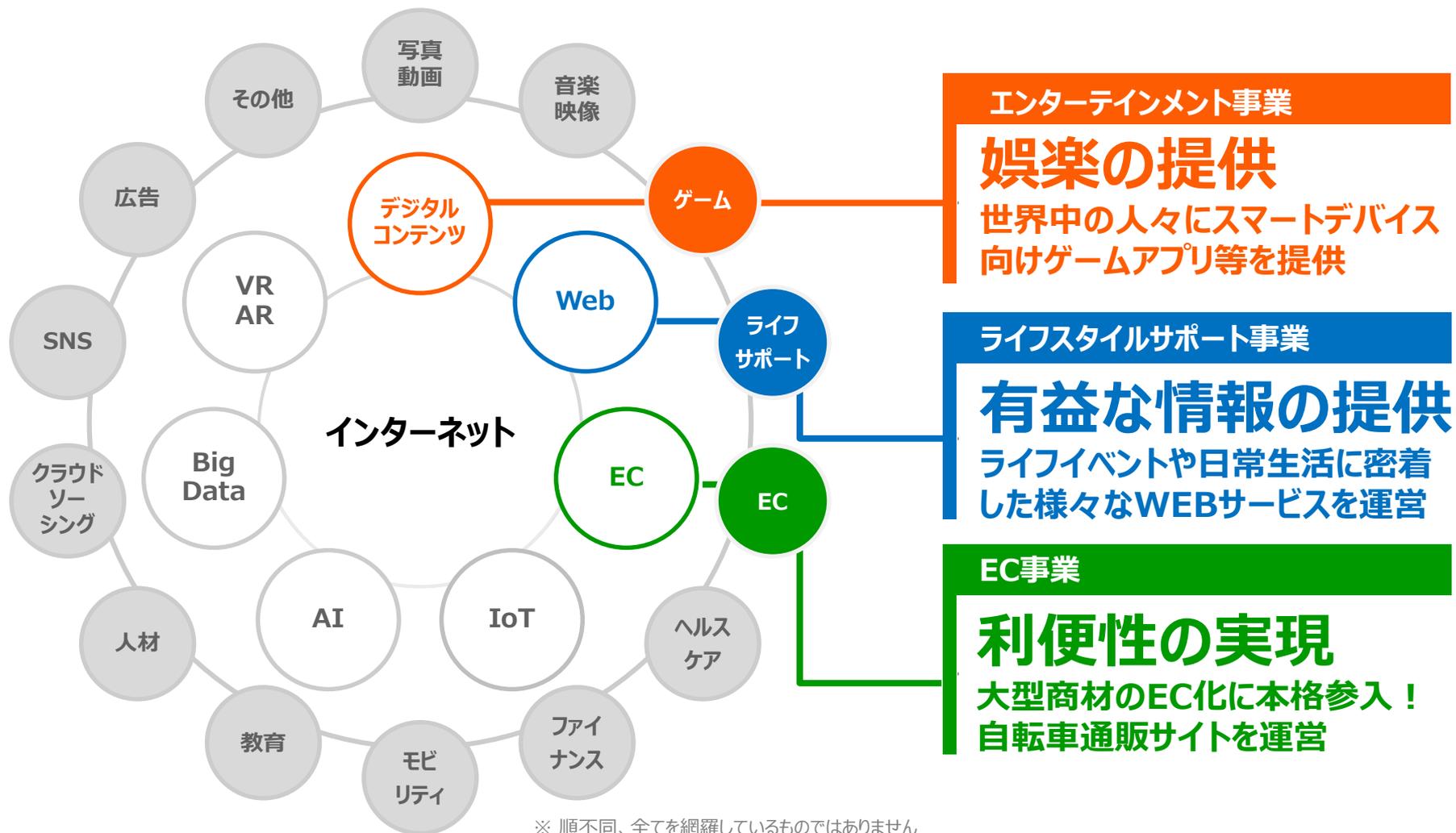
	FY2015 実績		FY2016 実績		FY2017 実績		FY2018予想
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	期末
基準日	01/31	07/31	01/31	07/31	01/31	<b>07/31</b>	<b>07/31</b>
配当実施日	04/03	10/13	04/04	10/07	04/04	<b>10/06</b>	<b>10月（予定）</b>
1株当たり 配当金	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	<b>22円 00銭</b>	<b>32円 50銭</b>
配当総額	238百万円		239百万円		<b>517百万円</b>		-
(通期) 配当性向	17.7%		18.2%		<b>19.8%</b>		<b>20%（予定）</b>

※配当実施方法につきましては、これまでに中間配当及び期末配当、年2回に分けて配当を実施してまいりましたが、当社が展開するビジネスの特性上、利益が下期偏重型となっており、通期業績をもって配当方針に沿った配当金額を決定すべく、FY2018より、年1回の期末配当のみとさせていただきます。

## 5. 中長期的な展望

# エイチームの目指す姿

今後もインターネットを使った様々なビジネス領域に挑戦し続けます！



## エンターテインメント事業

### 娯楽の提供

世界中の人々にスマートデバイス向けゲームアプリ等を提供

## ライフスタイルサポート事業

### 有益な情報の提供

ライフイベントや日常生活に密着した様々なWEBサービスを運営

## EC事業

### 利便性の実現

大型商材のEC化に本格参入！  
自転車通販サイトを運営

※ 順不同、全てを網羅しているものではありません

## 事業の展望（数字を約束するものではありません）

### 全社

既存の三つの事業軸を基本としながらも、枠にとらわれず、様々な事業にチャレンジし、新たな収益源を創出します

### エンターテインメント

- | 日本で企画・開発・運営、世界中に人々に娯楽を提供
  - 北米だけでなく、欧州市場、さらにアジア圏を狙う
- | 全世界に向けて月商10億円規模のアプリを複数創出
  - 英語版を中心に海外売上比率50%強を目指す

### ライフスタイルサポート

- | 既存のメイン4サービスそれぞれ年商50億円規模に
  - 4サービスの合計で年商200億円～300億円規模をイメージ
- | 有益な情報を提供し、生活をより豊かに、より便利にするサービスを順次開拓

### EC

- | 自転車通販No.1サイトを目指す
  - 2020年までに国内自転車販売台数の3%を目指す
- | まだEC化が進んでいない商材へ挑戦

## M&A及びベンチャー投資の方針

### ミッション

『エイチームの目指す姿』につなげる、資本を活用した中長期的成長の実現ならびに企業価値向上の加速

### M & A

- 既存事業の競争力強化につながると想定される企業や事業

  - エンターテインメント：（例）ユーザーを獲得・確保するための国内外のメディア等
  - ライフスタイルサポート：（例）シェア拡大やシナジーが見込まれる事業、関連メディア等
  - EC：（例）自転車に限らず、国内外における他の商材EC等
- 自社で容易に参入できない、或いは参入に時間のかかる事業を持つ企業

### ベンチャー投資

- エイチームが参入するには不確実性が高いものの、将来的にみて魅力度が高い事業ドメインや技術を持つ未上場ベンチャー企業への出資
- エイチームの既存ノウハウを活かすことにより、大きな成長が見込まれる事業を展開する未上場ベンチャー企業への出資及び業務提携

# APPENDIX A

## 会社概要

# 会社概要 (2017年7月31日現在)

商号	株式会社エイチーム
証券コード	東証1部 3662
設立	2000年2月29日
本社所在地	名古屋ビルヂング32F
代表取締役社長	林 高生
業種	情報・通信
セクター	ゲーム・インターネット・EC
決算期	7月末
連結子会社数	5社 (国内4社、海外1社)
連結人員数	678名 (役員、アルバイトを除く)
単元株式数	100株



名古屋ビルヂング



本社受付



梅田阪急ビル



品川イーストタワー

## 代表取締役社長の略歴



1971.12.18

岐阜県土岐市に生まれる

1982.12

コンピュータープログラミング 開始

1987.3

多治見市立多治見中学校 卒業

1987.4 ~

学習塾経営・さまざまなアルバイト

1997.6

個人事業として「エイチーム」創業

2000.02.29

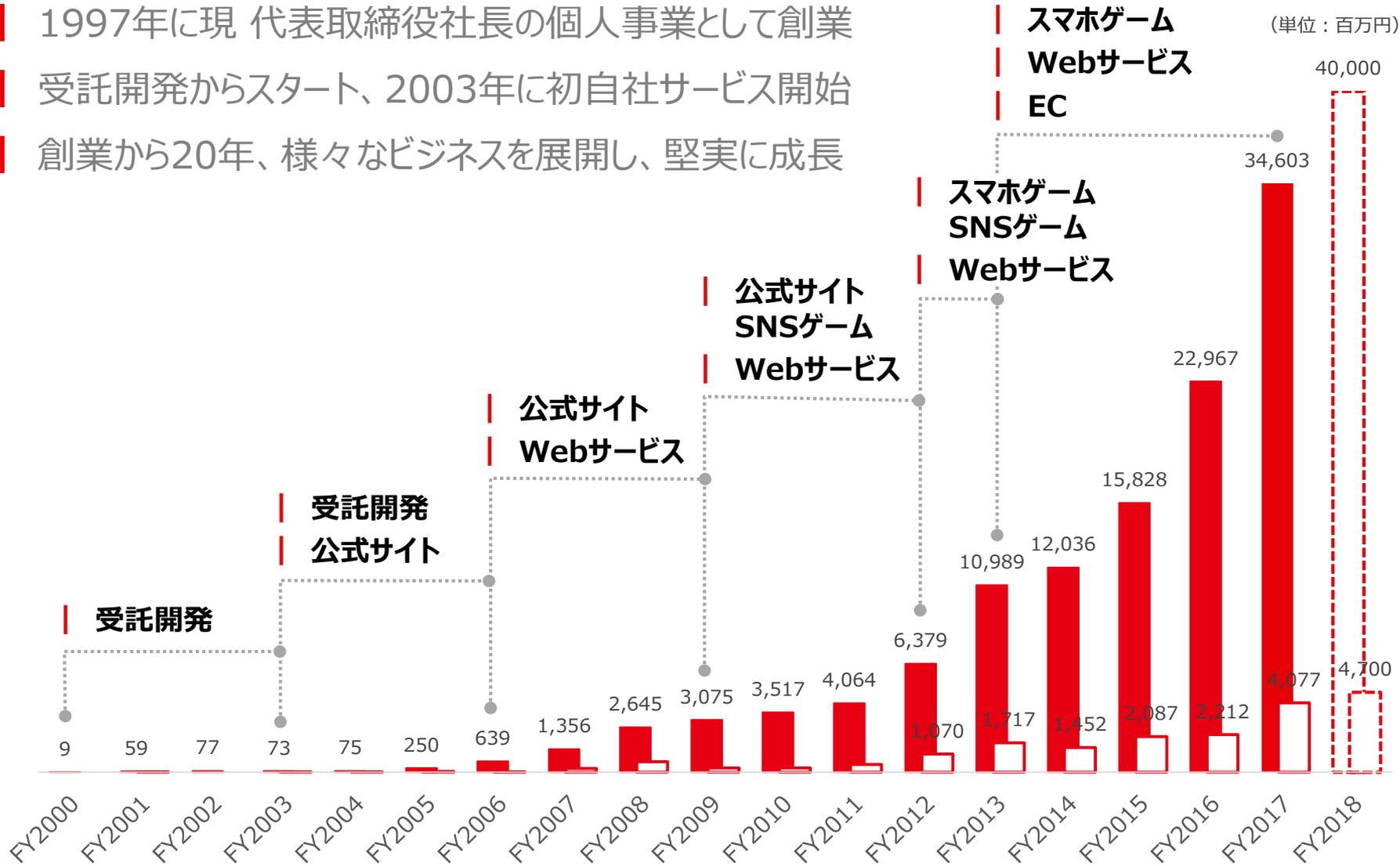
有限会社エイチーム 設立

2004.11.01

株式会社エイチームに組織変更

# 沿革

1997年に現 代表取締役社長の個人事業として創業  
 受託開発からスタート、2003年に初自社サービス開始  
 創業から20年、様々なビジネスを展開し、堅実に成長



# エイチームのビジネス

インターネットやスマートデバイスを通じて利用者の皆様に様々なサービスを提供



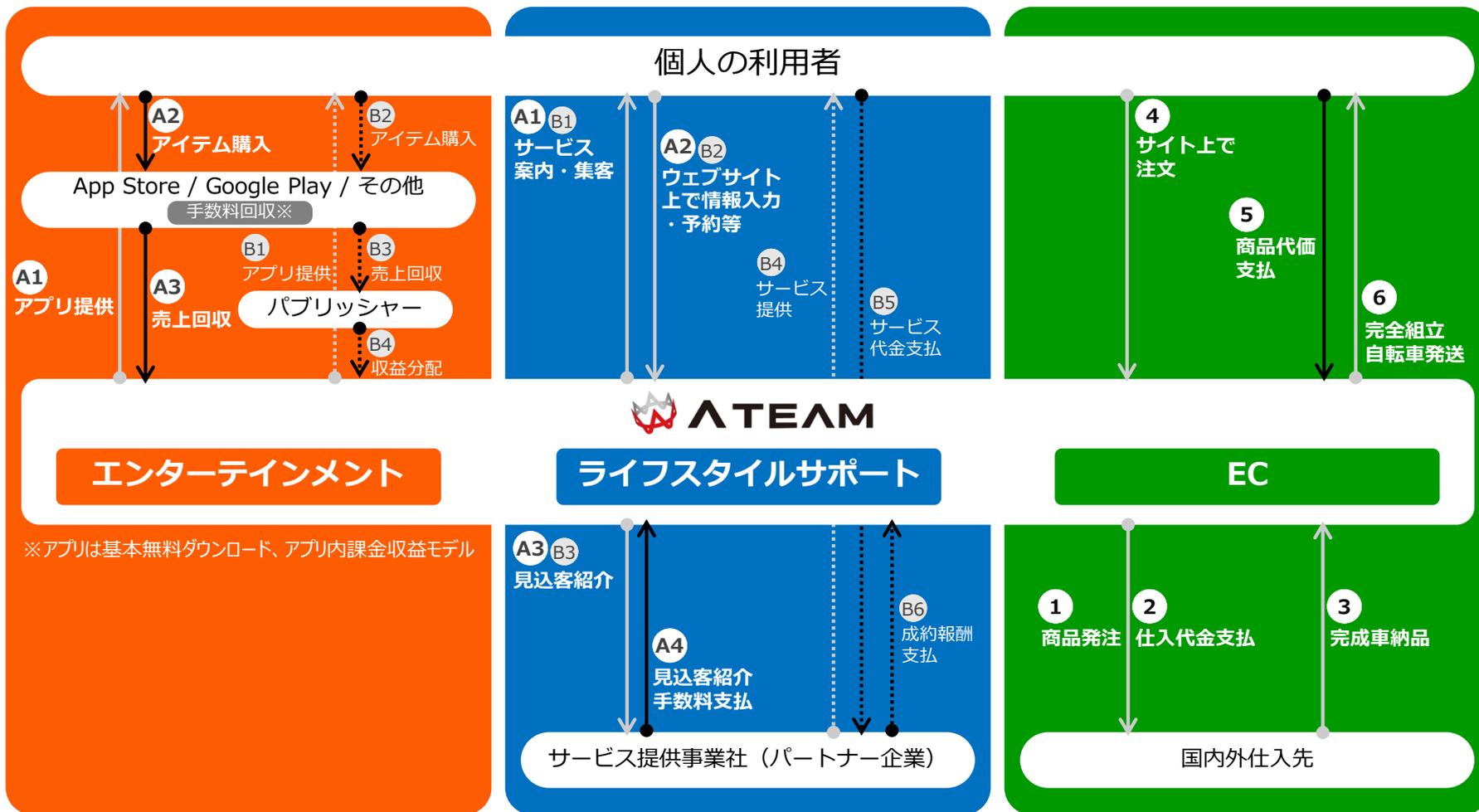
# ビジネスモデル

Ⓐ …… メイン収益のビジネスモデル (実線矢印)

Ⓑ …… サブ収益のビジネスモデル (点線矢印)

⇄ …… 商流

⇄ …… 金流



※アプリは基本無料ダウンロード、アプリ内課金収益モデル

手数料 …… App Store及びGoogle Play等、アプリ配信専用プラットフォーム運営者への支払手数料。アプリ内課金収益から手数料差引後入金。売上はグロス計上

# エンターテインメント事業 主要ゲーム&ツールアプリ

## Game Apps

### ミッドコア RPG (ロールプレイングゲーム)



放課後  
ガールズドライブ



ヴァルキリーコネクト



ユニゾンリーグ



レギオンウォー



ダークサマナー

### アクション



三国大戦スマッシュ!

### シミュレーション



ダービーインパクト

### パズル



ポンゴコンボ

### 麻雀



麻雀 雷神 - Rising -

### 公式サイト



エターナルゾーン



ミリオンヴァーサス

## Tool Apps

### SNS



ジャム

### スマホ着せ替え



[+]HOME

### ZeroApp シリーズ (無料で使える便利ツール)



快眠サイクル  
時計



楽々  
カロリー管理



アイトレ3D



3分  
フィットネス



さくさく  
英単語



きせかえ  
ミラー

# ライフスタイルサポート事業 サブセグメント別主要サービス

## 引越し 関連事業



引越し比較・予約サイト

- 一度の入力で最大10社の引越し業者から見積を取得
- 提携引越し業者数は全国250社以上
- 業界シェアトップ

## 自動車 関連事業



車査定・車買取サイト

- 一度の入力で最大10社の買取り業者から見積を取得
- 厳正な基準を満たした一流業者と提携
- 業界シェアトップ

## ブライダル 関連事業



結婚式場情報サイト

- 全国500以上の結婚式場から会場をご紹介
- ハナユメ特典を使って質の高い結婚式を「お得」に実現
- プロの専任アドバイザーが常駐する実店舗も展開

## 金融 メディア 事業



キャッシング・カードローン  
総合検索サイト

- 厳選した大手銀行、消費者金融のサービスを徹底比較
- 金利が低い・無利息期間あり・即日融資・収入証明不要など、希望条件に合うサービスを容易に検索

## 女性向け ヘルスケア 事業



女性向け生理日予測  
・体調管理アプリ

- 無料で生理日・排卵日が予測できるスマホアプリ
- わかりやすいグラフで基礎体温や体重も楽々管理
- 生理・妊娠・避妊から美容・健康まで匿名で相談も可能

# EC事業

## 自転車 EC

**cyma** -サイマ-  
life & discovery

自転車通販サイト  
「サイマ」

- 取扱い自転車200種類以上
- 専属整備士が整備、すぐに乗れる状態で自宅まで配送
- 日本最大級の自転車通販サイト



**cyma** -サイマ-  
life & discovery



さらに → **全品国内整備**  
国内自社整備工場からお届け

資格を持つ **整備士**  
による組立・品質チェック

自転車全品 **送料無料**  
ご自宅までお届け致します

**店舗以上の安心を**  
1年間のパンク修理保証&ロードサービスつき

全国の自転車店で受けられる**パンク修理保証つき!**  
【お家でパンクCARE (ケア)】

4つの修理を保証します

パンク修理 (チューブ・タイヤ交換含む)	ブレーキ修理
チェーン修理	異音の解決

すべて自社整備工場からお届けしています 常時10000台以上の自社在庫を保有  
**だから価格もお買い得!**



# 取締役



**中内 之公**

取締役

エンターテインメント事業本部長



**熊澤 博之**

取締役

ライフスタイルサポート事業本部長



**牧野 隆広**

取締役



**加藤 淳也**

社外取締役

## グループ会社 社長

兼任

Ateam Vietnam Co., Ltd.  
President

兼任

株式会社エイチーム引越し侍  
代表取締役社長

株式会社エイチームコネクト  
代表取締役社長



**間瀬 文雄**

株式会社エイチームライフスタイル  
代表取締役社長



**大崎 恵理子**

株式会社エイチームブライズ  
代表取締役社長

# APPENDIX B

## 主な経営指標

# P/L (FY2015 Q4 - FY2017 Q4)

(単位：百万円)

	FY2015	FY2016				FY2017			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
<b>売上高</b>	<b>4,563</b>	<b>4,610</b>	<b>5,420</b>	<b>6,178</b>	<b>6,757</b>	<b>7,136</b>	<b>8,147</b>	<b>9,906</b>	<b>9,412</b>
Q/Q 増減率 (%)	+3.5	+1.0	+17.6	+14.0	+9.4	+5.6	+14.2	+21.6	-5.0
エンターテインメント事業	2,464	2,331	3,173	3,196	3,857	4,089	4,886	5,200	5,082
ライフスタイルサポート事業	1,961	2,065	2,064	2,550	2,513	2,652	2,952	3,990	3,746
EC事業	137	214	182	431	385	393	308	715	584
売上原価	718	763	825	987	1,038	1,105	1,221	1,671	1,671
原価率 (%)	15.8	16.6	15.2	16.0	15.4	15.5	15.0	17.0	17.8
販売管理費	3,399	3,326	4,450	4,392	4,969	5,737	6,196	6,486	6,434
販売管理費率 (%)	74.5	72.1	82.1	71.1	73.6	80.4	76.1	65.3	68.4
費用総額 (売上原価+販売管理費)	4,118	4,089	5,276	5,380	6,008	6,843	7,417	8,158	8,105
人件費・採用費	736	745	805	814	884	872	935	931	1,066
広告宣伝費	1,955	1,817	2,326	2,433	2,758	3,432	3,551	3,623	3,410
広告宣伝費率 (%)	42.8	39.4	42.9	39.4	40.8	48.1	43.6	36.6	36.2
エンターテインメント事業	717	493	1,030	947	1,276	1,746	1,700	1,220	1,228
ライフスタイルサポート事業	1,154	1,218	1,184	1,368	1,338	1,547	1,728	2,230	2,040
EC事業	21	43	48	50	79	70	62	117	84
支払手数料等	869	841	1,171	1,177	1,401	1,468	1,779	2,051	2,018
外注・サーバー費	235	257	267	275	235	254	297	315	331
オフィス賃料	111	138	235	177	177	178	218	238	243
その他費用	209	289	470	501	551	636	634	997	1,034
<b>営業利益</b>	<b>445</b>	<b>520</b>	<b>144</b>	<b>798</b>	<b>748</b>	<b>293</b>	<b>729</b>	<b>1,748</b>	<b>1,306</b>
Q/Q 増減率 (%)	-28.0	+17.0	-72.2	+452.0	-6.3	-60.8	+148.5	+139.7	-25.3
エンターテインメント事業	407	549	440	601	706	302	807	1,440	1,270
ライフスタイルサポート事業	349	363	294	554	425	369	326	715	516
EC事業	-39	-43	-62	-23	-43	-34	-46	-65	-32
営業利益率 (%)	9.8	11.3	2.7	12.9	11.1	4.1	9.0	17.6	13.9
経常利益	452	493	112	751	736	292	778	1,738	1,308
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>278</b>	<b>291</b>	<b>17</b>	<b>479</b>	<b>504</b>	<b>138</b>	<b>537</b>	<b>1,162</b>	<b>741</b>

# P/L (FY2012 - FY2017)

(単位：百万円)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	Y/Y (%)
<b>売上高</b>	<b>6,379</b>	<b>10,989</b>	<b>12,036</b>	<b>15,828</b>	<b>22,967</b>	<b>34,603</b>	<b>+50.7</b>
Y/Y 増減率 (%)	57.0	72.3	9.5	31.5	45.1	50.7	-
エンターテインメント事業	3,278	6,632	6,169	7,914	12,559	19,259	+53.3
ライフスタイルサポート事業	3,100	4,357	5,834	7,557	9,193	13,342	+45.1
EC事業	0	0	32	356	1,214	2,001	+64.7
売上原価	927	1,392	2,132	2,389	3,615	5,669	+56.8
原価率 (%)	14.5	12.7	17.7	15.1	15.7	16.4	+0.7
販売管理費	4,381	7,880	8,451	11,351	17,139	24,855	+45.0
販売管理費率 (%)	68.7	71.7	70.2	71.7	74.6	71.8	-2.8
費用総額 (売上原価+販売管理費)	5,309	9,272	10,583	13,740	20,755	30,525	+47.1
人件費・採用費	1,540	2,083	2,638	2,798	3,250	3,807	+17.1
広告宣伝費	2,331	4,310	4,279	6,430	9,335	14,018	+50.2
広告宣伝費率 (%)	36.5	39.2	35.6	40.6	40.6	40.5	-0.1
エンターテインメント事業	399	1,571	789	1,651	3,748	5,895	+57.3
ライフスタイルサポート事業	1,914	2,673	3,422	4,578	5,109	7,547	+47.7
EC事業	0	0	8	61	221	335	+51.6
支払手数料等	624	1,600	1,737	2,586	4,592	7,318	+77.2
外注・サーバー費	250	528	826	785	1,035	1,198	+15.8
オフィス賃料	190	337	420	433	728	879	+20.7
その他 (費用総額-上記費用)	371	411	682	706	3,340	3,303	-1.1
<b>営業利益</b>	<b>1,070</b>	<b>1,717</b>	<b>1,452</b>	<b>2,087</b>	<b>2,212</b>	<b>4,077</b>	<b>+84.3</b>
Y/Y 増減率 (%)	138.5	60.4	-15.4	43.8	6.0	84.3	-
エンターテインメント事業	1,126	1,866	1,409	1,770	2,297	3,820	+66.3
ライフスタイルサポート事業	539	632	840	1,298	1,637	1,929	+17.8
EC事業	0	0	-34	-115	-172	-178	+3.6
営業利益率 (%)	16.8	15.6	12.1	13.2	9.6	11.8	+2.2
経常利益	1,047	1,718	1,470	2,164	2,094	4,118	+96.6
税引前当期純利益	1,008	1,688	1,364	2,091	1,858	3,854	+107.4
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>590</b>	<b>1,042</b>	<b>807</b>	<b>1,362</b>	<b>1,292</b>	<b>2,579</b>	<b>+99.6</b>

# B/S (FY2012 - FY2017)

(単位：百万円)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
<b>資産の部</b>						
流動資産	2,709	3,760	4,034	6,334	6,918	9,809
現預金	1,339	1,944	2,217	3,097	3,505	5,004
固定資産	443	881	1,470	1,322	2,668	3,331
有形固定資産	45	102	120	125	1,321	1,666
無形固定資産	120	410	355	460	622	507
投資その他の資産	277	367	994	736	724	1,157
<b>資産合計</b>	<b>3,153</b>	<b>4,641</b>	<b>5,504</b>	<b>7,656</b>	<b>9,586</b>	<b>13,140</b>
<b>負債の部</b>						
流動負債	1,153	1,136	1,305	3,648	4,127	5,202
固定負債	0	0	0	0	387	481
<b>負債合計</b>	<b>1,153</b>	<b>1,136</b>	<b>1,305</b>	<b>3,648</b>	<b>4,514</b>	<b>5,683</b>
有利子負債	100	0	0	1,700	1,166	632
<b>純資産の部</b>						
株主資本	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971	7,361
自己株式	0	0	0	-1,403	-1,222	-1,177
新株予約権	0	5	67	108	100	96
<b>純資産合計</b>	<b>1,999</b>	<b>3,505</b>	<b>4,198</b>	<b>4,008</b>	<b>5,072</b>	<b>7,456</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,153</b>	<b>4,641</b>	<b>5,504</b>	<b>7,656</b>	<b>9,586</b>	<b>13,140</b>

## その他経営指標 (FY2012- FY2017)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
発行済株式総数 (株)	18,393,000	19,195,000	19,349,200	19,405,600	19,450,000	19,469,800
自己株式数 (株)	0	0	0	580,020	302,562	302,562
期中平均株式数 (株)	16,882,352	18,933,262	19,255,641	19,310,191	18,846,317	18,904,872
<b>EPS (1株当たり当期純利益、円)</b>	<b>34.99</b>	<b>55.04</b>	<b>41.96</b>	<b>70.54</b>	<b>68.58</b>	<b>136.45</b>
EPS増減率 (%)	117.5	57.3	-23.8	45.6	-2.8	+99.0
<b>ROA (総資産経常利益率、%)</b>	<b>42.3</b>	<b>44.1</b>	<b>29.0</b>	<b>32.9</b>	<b>24.3</b>	<b>36.2</b>
1株当たり純資産 (円)	108.7	182.4	213.5	207.2	263.4	389.0
1株当たり配当金額 (円)	0.00	10.61	10.00	12.50	12.50	27.00
中間配当額 (円)	0.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
配当総額 (百万円)	0.00	203	192	238	239	517
<b>配当性向 (%)</b>	<b>0</b>	<b>19.3</b>	<b>23.8</b>	<b>17.7</b>	<b>18.2</b>	<b>19.8</b>
株主資本比率 (%)	63.4	75.4	75.0	50.9	51.9	56.0
自己資本比率 (%)	63.4	75.4	75.1	50.9	51.9	56.0
<b>ROE (自己資本当期純利益率、%)</b>	<b>38.9</b>	<b>37.9</b>	<b>21.2</b>	<b>33.9</b>	<b>29.1</b>	<b>41.8</b>
<b>ROIC (=①÷②、%)</b>	<b>29.9</b>	<b>30.3</b>	<b>20.8</b>	<b>21.0</b>	<b>25.1</b>	<b>34.1</b>
①税引き後営業利益 (百万円)	626	1,059	859	1,178	1,539	2,729
②運転資本 (=③+④、百万円)	2,099	3,500	4,130	5,600	6,137	7,993
③株主資本 (百万円)	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971	7,361
④有利子負債 (百万円)	100	0	0	1,700	1,166	632

※当社は2011年10月27日に1:100、2012/06/01に1:3、2015/05/01に1:2の割合をもって株式分割を行っております。このため、上記にはFY2011の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの金額を算定しております。従いまして、上記には過去に当社が発表した決算書類と異なる数値が一部含まれます。

# 「みんなで幸せになれる会社にする事」 「今から100年続く会社にする事」



本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking statements）」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。